



所沢ニュータウン
自治会報
(一般住宅)
第198号
令和5年10月26日
発行責任者 増田 毅
所沢市中新井4-30-6
編集責任者 大野保子

初企画。「敬老会」に替わり開催

ニュータウン自治会主催「まちづくり感謝の集い」が9月10日10時から並木まちづくりセンター多目的ホールで行われました。これは敬老会の式典が市の補助金打ち切りにより取りやめとされる自治会が多い中、高齢者に限らず、ボランティアとして地域活動に参加されている方々も含めた感謝と交流の場としての会が開催されることが総会で決まりました。その第1回目となりました。

最初に増田会長から、この地域は高齢者を中心

まちづくり感謝の集い



悠々おやじの会・公園美化推進会・ふれあい会・納涼祭実行委員会各代表へ感謝状授与



県議会副議長岡田しずか氏の乾杯の音頭

地域ボランティア活動をされている方が中心となつて結成されたミルフィーユのギター演奏はウクライナの平和を願う「ひまわり」の曲で始まりま

としたボランティア活動で成り立っている地域であること。楽しくボランティア活動が継続でき、新しい人の参加が望めるようコミュニケーションの場が必要なことが代表挨拶として述べられました。

「悠々おやじの会」「公園美化推進会」「ふれあい会」「納涼祭実行委員会」の各代表に感謝状が渡され、これからは顔見知りとなり、地域の発展のため尽力をお願いいたしました。

埼玉県議会副議長岡田しずか氏の乾杯の音頭で一息つき、会食と音楽鑑賞に入りました。



2023/09/10



2023/09/10

12名の演奏者によって参加者に馴染みのある身近な6曲が流れて行き、ゆったりとした時間を過ごせました。

最後の曲は「カントリーロード」で中新井小町も加わり、ピアノ、マンドリンの力強い音が響き賑やかにミルフィーユの演奏を終りました。

そのまま中新井小町にバトンが渡され、女性5人組みのグループは「さくら」の曲を始めとして、「北の国から」など心を揺さぶる左ミルフィーユ。下中新井小町の皆さんと一曲披露する増田会長。

ニュータウン地区 民生委員の紹介

民生委員	分担区域	該当班	連絡先
加藤 久美子	3丁目1~19・22番(1~18号)	1~4班	電2943-2361 中新井3-19-10
西山 貴代	4丁目1~20番	5~9班	電2990-3031 中新井4-9-1
岩永 敦子	4丁目21~41番	10~14班	電2942-3168 中新井4-41-6
藤井 恵美子	5丁目3番1号~7番25号	15班	電2942-4802 中新井5-14-12
原嶋 厚子	5丁目8番4号~29番21号	16~20班	電2942-3344 中新井5-17-11

曲の連続でした。みんなで歌おうコーナーでは懐かしい昭和の御三家の歌があり、みんなで声を揃えて気持ち良く歌い切りました。

「故郷」の曲は手話の指導があり、一つ一つの手の動きに合わせながら声を出す楽しい時間を過ごせました。

第1回目の感謝の集いは穏やかな空気感に包まれ、良い余韻を残しました。

また、今回は表彰の場は逃しましたが、地域の高齢者や児童に関わる活動をして下さっている民生委員・児童委員の皆様にも加えて感謝をしたいと思っております。

民生委員・児童委員の任期は3年。昨年11月末の改選により12月から新メンバーがすでに行動して下さっています。

「普通救命講習会」実施

「応急手当の重要性」を学ぶ

6月18日(日)午前9時から約2時間、並木まちづくりセンター多目的ホールにて「普通救命講習会」が実施されました。

前半は動画で「応急手当の重要性」を学び、後半は心肺蘇生、AEDを用いた電気ショック、気道異物除去の一次救命処置について実習し、その後、参加者13名からの多くの質問に所沢東消防署富岡分署の山崎さんと杉浦さんに応えていただく講習会となりました。

現場に居合わせた市民が救命

処置を行うと救命の可能性が2倍程度に保たれるそうです。

また、1か月後の社会復帰率は救急隊の到着前にAEDを使用した場合は43・9%と、救急隊到着後電気ショックを実施した場合の18・6%を大きく上回っています。

突然倒れている人や、反応のない人を見たら、心肺停止を疑い、119番通報とAEDの手配をし、心肺蘇生法、AEDの使用を実践できるようにしたいとあらた



救急隊到着前のAED使用の必要性



AED到着前では心臓マッサージを



AED使用は音声案内が教えてくれる

めて思いました。

現在のAEDは、蓋をあげ、電源が入ると音声メッセージで手順が流れるので、誰でも使える仕様になっています。

ニュータウン内のAEDの設置場所は、中央小学校、中新井保育園、並木まちづくりセンター、ホームライフ管理(株)、飯能信用金庫、そうふく歯科医院などです。

また24時間使用できるAEDはスカイマンションA棟・B棟・C棟(いずれもエントランス内)に設置されています。

園、並木まちづくりセンター、ホームライフ管理(株)、飯能信用金庫、そうふく歯科医院などです。

また24時間使用できるAEDはスカイマンションA棟・B棟・C棟(いずれもエントランス内)に設置されています。

曲の連続でした。みんなで歌おうコーナーでは懐かしい昭和の御三家の歌があり、みんなで声を揃えて気持ち良く歌い切りました。

「故郷」の曲は手話の指導があり、一つ一つの手の動きに合わせながら声を出す楽しい時間を過ごせました。

第1回目の感謝の集いは穏やかな空気感に包まれ、良い余韻を残しました。

また、今回は表彰の場は逃しましたが、地域の高齢者や児童に関わる活動をして下さっている民生委員・児童委員の皆様にも加えて感謝をしたいと思っております。

民生委員・児童委員の任期は3年。昨年11月末の改選により12月から新メンバーがすでに行動して下さっています。

並木地区合同防災訓練

“備えあれば憂いなし”

9月2日(土曜) 並木7地区自治会合同防災訓練が行われました。8時に防災訓練の放送が流れ、浅海原公園に避難集合して参加者は中央小学校体育館に移動しました。

9月に入っても暑く朝から30度を超え、歩くだけで汗が流れましたが、地震は寒暖、昼夜を問わず起こり得ること思い出しました。

参加人数は約110名でニュータウン自治会からは39名でした。

所沢市内各所で同時に合同訓練が行われている関係で市役所、消防署からの参加はなく、所沢市消防団並木第4分団の5名の方が来てくださいました。消防団の方々は仕事をしながらボランティアで、防火



三角巾の使い方など



負傷者の担架移動法



アルファ米によるワカメご飯

や消火、避難訓練を通して地域活動をされています。

体育館内で人工呼吸の仕方、消火器の使い方、三角巾を使った応急手当、負傷者の担架移動法等のデモンストレーションがありました。

消防団の方の話と同時進行でアルファ米の炊き出し体験も行われました。当日は、訓練の参加者分を賄うためビニール袋を敷いたダンボール箱が容器に使用され、その中にアルファ米と熱湯を容れ、15分待つと大量のワカメ御飯が完成。非常食も「こんなに美味しくなっている」と感じた時間でした。

後半はニュータウン増田会長、防犯防災部の作成された中新井、並木地区に起こりうる地震災害

と、その後に取るべき行動上の注意などのスライドを見ました。

公にされているハザードマップなどのデータを基にされているとのことでしたが、自分たちの住む地域に限っての話に限定されると、より身近に感じられ覚えておきたいことが多くありました。

中新井地区は直下型地震のシミュレーションでは震度5強から6弱で家屋の倒壊は少ないと思われ、その後の火災が生じれば被害が大きくなるということも重要だと思いました(関東大震災から100年、テレビで2夜にわたって放送されましたが、倒壊などで亡くなった方より火災での犠牲者が多かったという話を見ただけでした)。

実際、地震が発生した直後には市役所、消防、消防団も手が回らず、一般的な避難は自治会が大きな役割を担うこととなります。

関東大震災から100年、いつ次の大きな地震が発生してもおかしくない今ですから、年に1回でも防災訓練で防災の意識を高めることが大切です。このような機会に1人でも多くの方に参加していただき、自助・共助の学びをして、「備えあれば憂いなし」で日々過ごしたいものです。

「防犯講座」特殊詐欺から財産を守ろう

去る7月3日、所沢市子どもと福祉の未来館において、所沢警察生活安全課日向(ひゆうが)課長を講師に、「防犯講座」特殊詐欺から皆さんの財産を守ろう」がふれあい会も委員の所沢市ボランティア連絡協議会(通称V連)主催のもと、70名の出席者を集めて開催されました。

いわゆる特殊詐欺の「手口」には、息子や孫を騙り(電話の声には実際に皆よくたま

されるという)現金をだまし取る・警察官や市役所を騙りキャッシュカードを騙し取る・医療費の払戻金があるを騙り、ATMへ誘引、

振り込ませ、騙し取るなどの種類があり、これらの手口を警察が総称して「特殊詐欺」と分類しています。

▽「オレオレ詐欺」 主に親族を騙り、親族が起こした事件・事故に対する示談金等を名目に金銭等を詐取するもの。現金が手元のない等の理由でキャッシュカードを手交したのも含まれる。

▽「預貯金詐欺」 市役所、家電量販店、警察官などを騙り、「口座・カードの不正利用」「還付金の払い出し」等に対する交換・手続きの名目でキャッシュカードや預貯金通帳等を詐取するもの。(すり替え型)封筒にキャッシュカードを入れさせ、目の前で封印させるため、一度目

を離れた隙に別の封筒に素早くすり替える等の手口)。

▽「還付金詐欺」 市役所や金融機関を騙り、還付金に必要な手続きを装って被害者にATMを操作させ、口座間送金により現金を詐取するもの。

▽「架空請求詐欺」 アダルトサイト登録未納料金・ウイルス感染除去料金などを騙り、コンビニエンスストアで電子マネー購入させ、ID番号を告げさせて換金するもの。

特殊詐欺とは、総じて親が子や孫を思う心情を逆手に取った「卑劣な犯罪」である。

警察の取り組みとしては「電話に出ないこと」「留守番電話設定にすること」「防犯機能付き電話機にすること」「家族の絆を強め、会話を多くすること」などが薦められる。